

福井の未来の原動力となる「ふくい創生」の担い手の育成

「ふくい創生」に向けた学習内容の明確化・高度化

○ 知ることが中心のふるさと学習から、「ふくい創生教育」へのステージアップ

〔視点1〕ふるさと福井を知ることに加え、福井を「好きになる」こと、地域の課題解決など福井で「実践する」ことを重視した体験の充実

〔視点2〕地元企業や生活環境、自然、地域を知る機会を増やし、福井に住み、福井で働き、「生きる」ことを考えるライフプラン教育の実践

〔視点3〕職業教育の達成度の明確化、第一線で活躍する人物との直接体験などにより、将来の福井を支え、新たな活力を生み出す人材を育成

ふるさと学習等の現状



白川文字学



恐竜化石発掘

○白川文字学
平成23年度から全小学校で漢字教育に活用
(1~4年生:10時間/年)
(5、6年生:5時間/年)

○恐竜化石発掘
化石発掘体験を通じて地域の特色・歴史や地層を理解



ふるさとガイド
(内浦中学校)



希望学 (明道中学校)

○ふるさとガイド
中学生が観光ツアーを企画
自分たちでガイドも行い、地域の魅力を説明

○希望学講座
過去の地域の出来事をもとに、自らの行動につなげる希望学を活用した授業



ふるさと先生 (小松長生氏)



テクノロジーアカデミー
(清川メッキ工業㈱)

○ふるさと先生
本県ゆかりの企業経営者等第一線で活躍する人物から高校生に複数回の授業

○テクノロジーアカデミー
普通科系高校1年生が地元大学・企業で研究等に参加
地元で親しむ機会を創設

〔視点1〕福井を「好きになる」、福井で「実践する」体験の充実

○ 様々な体験を通じ、地域を好きになる機会の拡充

- ・ 地域伝統芸能への参加機会の増加。上級生による下級生指導
- ・ 嶺南・嶺北の学校が相互に訪問して地域を紹介
- ・ 里山里海湖や恐竜など地域資源を活用した体験 など

○ 地域課題等への対応を自ら考え、実践する体験の充実、意識の向上

- ・ まちづくりの提案・実践や清掃ボランティアの企画・運営
- ・ 地域の独居老人や行政機関を取材して地域課題の把握・改善提案
- ・ 行動意識を高める希望学を活用した授業の全県実施 など

〔視点2〕福井で「生きる」ことを考えるライフプラン教育の実践

○ 自分自身の生き方や福井での生活を考える機会を充実

- ・ 中学生向けの先輩体験談の内容を充実(複数回の授業形式など)
- ・ 地元の企業や大学での先端研究等への参加・共同研究の増加
- ・ 福井での生活、都市部での生活を比べ将来を考える授業の実施
- ・ 大学卒業時を見越した高校生向けUターン企業見学会の新設 など

〔視点3〕将来の福井を支え、新たな活力を生み出す人材の育成

○ 職業教育内容の充実と第一線で活躍する人物との直接体験の充実

- ・ 地元企業と協力して職業系高校での達成度をはかる制度を創設
- ・ 地元企業とのネットワークを設置して職業教育の内容を更新
- ・ 本県ゆかりの企業経営者等による特別授業を拡充。地元企業で働く先輩も参加 など